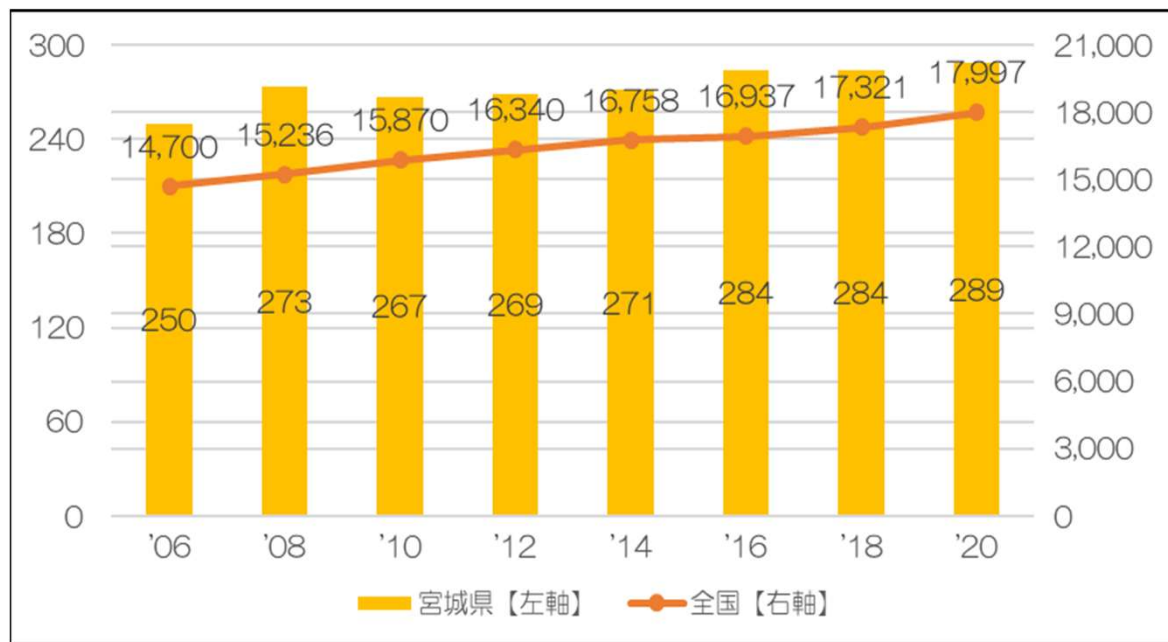


小児科医師の状況

【全国及び県内の小児科医師数の推移】

(単位：人)



【県内の小児科医師数の推移】

(単位：人)

		2016 (H28)	2018 (H30)	2020 (R2)
宮城県		284	284	289
医療圏	仙南	15	11	11
	仙台	236	239	238
	大崎・栗原	11	12	16
	石巻・登米・気仙沼	22	22	24

小児科医師偏在指標

	小児科医師偏在指標	順位	相対的医師少数区域
宮城県	104.6	36位	該当
医療圏	仙南	80.4	257位
	仙台	108.9	140位
	大崎・栗原	88.5	225位
	石巻・登米・気仙沼	92.2	206位

【小児科医師偏在指標】

人口10万対医師数をベースに、医療圏ごとの人口構成や流入流出の状況等を踏まえて調整した指標。
(国が提示)

小児科偏在対策基準医師数・宮城県における目標医師数

都道府県・医療圏		偏在対策基準医師数	現在の医師数	目標医師数
宮城県		268.7人	< 289人	289人
医療圏	仙南	11.6人	> 11人	12人
	仙台	175.6人	< 238人	238人
	大崎・栗原	18.3人	> 16人	19人
	石巻・登米・気仙沼	23.1人	< 24人	24人

【小児科偏在対策基準医師数】

「小児科医師偏在指標」が、相対的医師少数区域等の基準値（下位33.3%）に達することになる医師数。

【目標医師数】

「現在医師数」と「小児科偏在対策基準医師数」の大きい数値を目標医師数とする。（医師確保計画策定ガイドライン）

目標医師数を達成するための施策（小児科）

①小児科医師の確保・定着

- 東北大学小児科の「小児科研修プログラム in MIYAGI」によって小児・新生児の医療を担う小児科専門医を育成し、効率的に配置するとともに、小児科医師のキャリア形成を支援し、県内への医師定着を促進します。
- 地域医療に新生児科医師を安定して供給できる体制を構築するため、東北大学病院に設置された新生児医療研修センターにおいて新生児科指導医を養成することで、新生児科医師を継続的に育成する取組を支援します。
- NICU入院児数に応じた手当を支給する医療機関を補助し、新生児医療に従事する小児科医の確保・定着を支援します。

②小児医療提供体制の維持・充実

- 小児科患者の保護者等向けに看護師が対応する電話相談を開設し、小児初期救急医療体制を補完することで、医療提供体制の維持を支援します。